

2014年3月期決算説明会

第4次中期経営計画 (2014年度～2016年度)

株式会社 安永

証券コード:7271

2014年6月5日



将来見通しに関する注意事項



本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。

その為、様々な要因によって、実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。

本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願い致します。

- 14年3月期決算概要
- 15年3月期業績予想
- 第4次中期経営計画



タイ子会社 工場完成

タイ子会社「YASUNAGA (THAILAND) CO.,LTD.」の生産工場が本年2月完成
現在、生産ライン3本を立上げ中

- (1)所在地 ラヨン県 アマタシティ工業団地
- (2)工場面積 12,208㎡
- (3)生産品目 コンロッド
- (4)投資額 建物:約10億円、生産ライン:約15億円



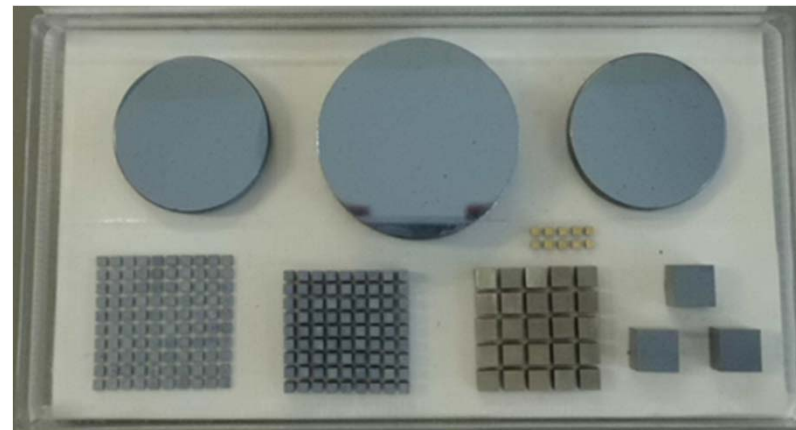
バンkokより120^キ。
車で1.5時間

熱電発電市場に進出

排熱から電気エネルギーを回収する「熱電変換技術」の研究開発成果としてシリサイド系熱電変換材料・発電素子のサンプル提供及び研究開発向け製品の試験販売を開始



熱電材料
(マグネシウムシリサイド)



熱電素子

事業概要

14年3月期 売上高構成（連結）



ワイヤソー



検査測定装置



工作機械



エアーポンプ



ディスポータ



コンロッド



シリンダーヘッド



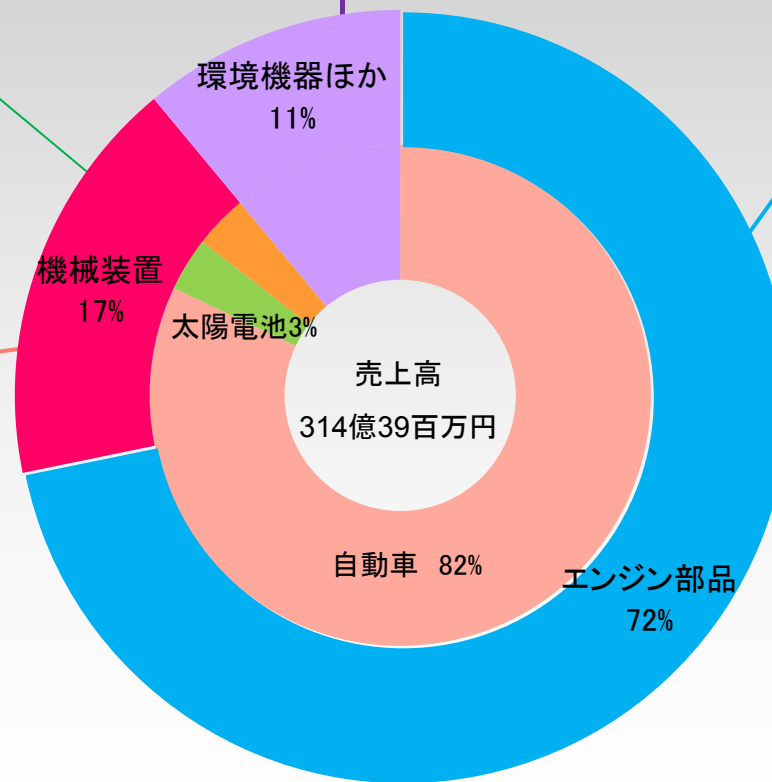
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト



14年3月期決算トピックス

減収/黒字化



エンジン部品事業の大口顧客向け販売減少を主な要因として減収

前期の太陽電池関連ワイヤソー在庫の棚卸資産評価損計上を受け
今期のワイヤソー事業は黒字転換した

(単位:百万円)

	13年3月期 実績	14年3月期			対前年 増減額
		上期	下期	通期	
売上高	33,966	15,533	15,906	31,439	△ 2,527
営業利益	△ 332	366	248	614	946
(対売上比)	(△1.0%)	(2.4%)	(1.6%)	(2.0%)	
経常利益	△ 275	425	255	680	956
(対売上比)	(△0.8%)	(2.7%)	(1.6%)	(2.2%)	
当期純利益	△ 524	170	205	375	899
(対売上比)	(△1.5%)	(1.1%)	(1.3%)	(1.2%)	

決算概要：セグメント別売上高・営業利益（連結）



【前年同期対比】

売上高の()は構成比%

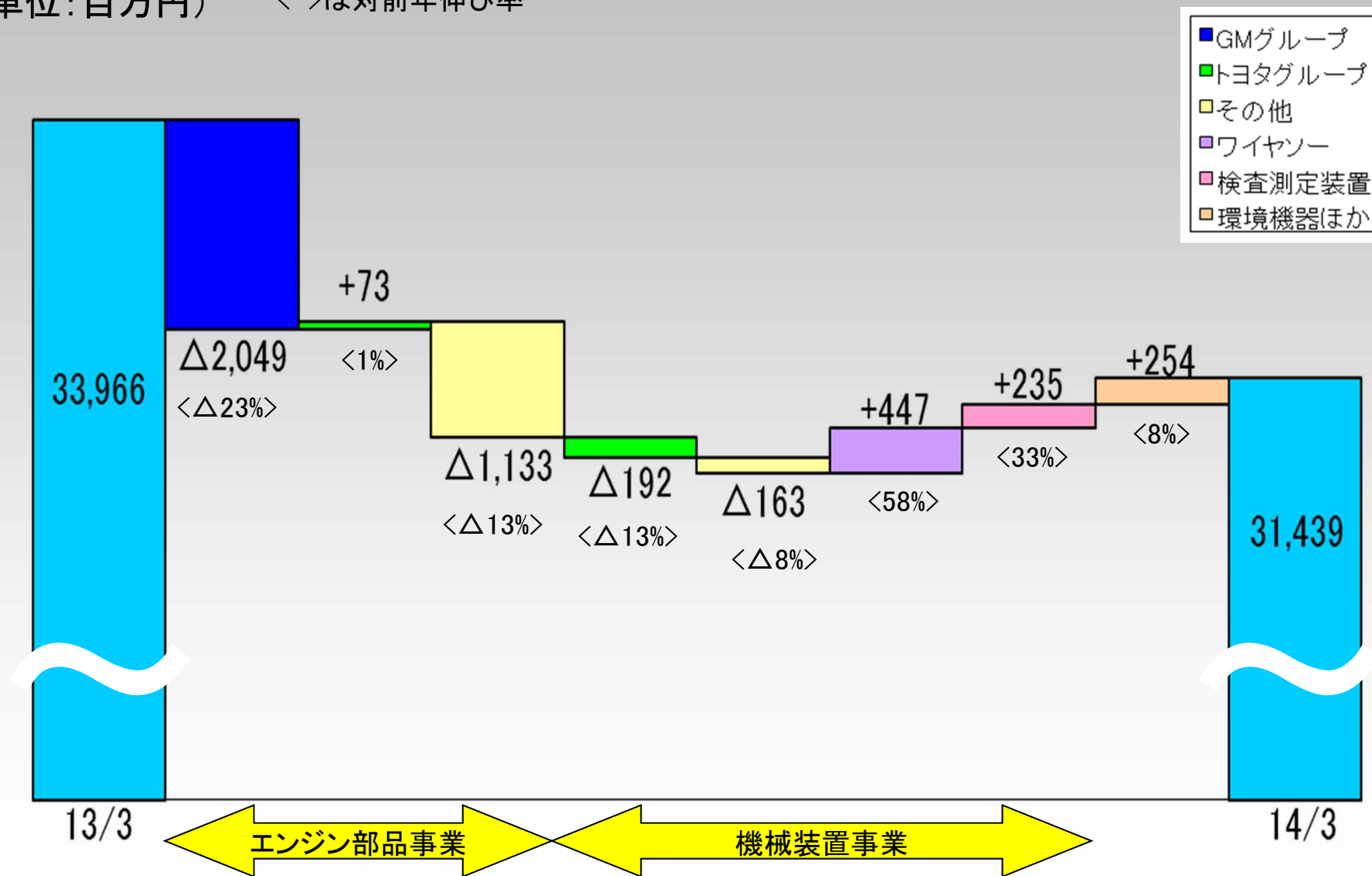
営業利益の()は営業利益率%

(単位：百万円)	売上高			営業利益			売上増減理由
	13年3月期	14年3月期	対前年増減	13年3月期	14年3月期	対前年増減	
エンジン部品	25,674 (75.6%)	22,565 (71.8%)	△ 3,109 (△12.1%)	1,362 (5.3%)	656 (2.9%)	△ 706 (△51.8%)	<主要得意先別 売上比率> ・トヨタグループ 30.5% → 35.1% (+0.9億) ・GMグループ 34.2% → 29.8% (△20.5億) ・三菱グループ 9.1% → 9.0% (△3.1億)
機械装置	5,077 (14.9%)	5,405 (17.2%)	327 (6.5%)	△ 1,863 (△36.7%)	△ 70 (△1.3%)	1,793 -	工作機械 △3.6億 ワイヤソー +4.5億 検査測定装置 +2.4億
環境機器 その他	3,213 (9.5%)	3,468 (11.0%)	254 (7.9%)	168 (5.2%)	27 (0.8%)	△ 140 (△83.6%)	安永エアポンプ 12年度 売上高 23.3億 営業利益 1.3億 13年度 26.2億 0.3億 ⇒
合計	33,966 (100.0%)	31,439 (100.0%)	△ 2,527 (△7.4%)	△ 332 (△1.0%)	614 (2.0%)	946 -	

決算概要：連結売上高増減要因（得意先別）



（単位：百万円） < >は対前年伸び率



決算概要：損益計算書の状況（連結）

【前年同期対比】

(単位：百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減率(%)	増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
売上高	33,966	100.0%	31,439	100.0%	△7.4%	△ 2,527
売上原価	31,040	91.4%	27,425	87.2%	△11.6%	△ 3,615
販管費	3,257	9.6%	3,399	10.8%	4.3%	141
営業利益	△ 332	△1.0%	614	2.0%	-	946
営業外損益	56	0.2%	66	0.2%	18.5%	10
経常利益	△ 275	△0.8%	680	2.2%	-	956
税前当期純利益	△ 280	△0.8%	610	1.9%	-	890
法人税等合計	243	0.7%	234	0.7%	△3.7%	△ 8
当期純利益	△ 524	△1.5%	375	1.2%	-	899

《POINT》

(営業外収益)

為替差益	124	0.4%	160	0.5%	28.7%	35
------	-----	------	-----	------	-------	----

(営業外費用)

支払利息	106	0.3%	101	0.3%	△4.2%	△ 4
社債発行費	-	-	21	0.1%	-	21

(法人税等合計)

法人税等調整額	△ 18	△0.1%	112	0.4%	-	131
---------	------	-------	-----	------	---	-----

決算概要：貸借対照表の状況（連結）



【前年同期対比】

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減額
流動資産	17,341	16,029	△ 1,311
固定資産	12,427	15,936	3,508
資産合計	29,768	31,965	2,197
流動負債	12,821	13,000	179
固定負債	6,417	8,044	1,626
純資産	10,529	10,920	391
負債・純資産合計	29,768	31,965	2,197
有利子負債	10,956	12,299	1,342
自己資本比率	35.4%	34.2%	△1.2P
一株当たり純資産	880.12円	912.83円	+32.71円

主たる増減	
流動資産	
受取手形・売掛金	△1,050百万円
固定資産	
有形固定資産	+3,572百万円
流動負債	
支払手形・買掛金	△260百万円
短期借入金	△200百万円
未払金	+ 561百万円
固定負債	
社債	+1,040百万円
長期借入金	+562百万円
純資産	
利益剰余金	+267百万円

決算概要：キャッシュ・フローの状況（連結）



【前年同期対比】

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,770	4,512	2,741
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,365	△ 5,368	△ 3,003
財務活動による キャッシュ・フロー	682	1,235	552
現金及び現金同 等物の増減額	115	475	360
現金及び現金同 等物の期末残高	3,764	4,240	475

POINT（主たる要因）

営業活動によるCF	減価償却費	+ 1,811
	売上債権の減少	+ 1,400
	たな卸資産の減少	+ 687
	税金等調整前当期純利益	+ 610
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 5,188
財務活動によるCF	有利子負債の増加	+ 1,342

有利子負債の状況（連結）



（単位：百万円）

	13年3月末	14年3月末
有利子負債（D）	10,956	12,299
現金及び預金	3,765	4,346
ネット有利子負債（D）	7,191	7,953
純資産（E）	10,529	10,920
D/E レシオ	1.04倍	1.13倍
ネット D/E レシオ	0.68倍	0.73倍

- 14年3月期決算概要
- **15年3月期業績予想**
- 第4次中期経営計画



業績予想：2015年3月期売上高・利益の予想（連結）



（単位：百万円）

	14年3月期 通期	15年3月期（予想）			対前年 増減率
		上期	下期	通期	
売上高	31,439	15,330	16,220	31,550	0.4%
営業利益	614	60	340	400	△34.9%
（対売上比）	(2.0%)	(0.4%)	(2.1%)	(1.3%)	
経常利益	680	15	265	280	△58.9%
（対売上比）	(2.2%)	(0.1%)	(1.6%)	(0.9%)	
当期純利益	375	△ 87	171	84	△77.6%
（対売上比）	(1.2%)	(△0.6%)	(1.1%)	(0.3%)	

業績予想：セグメント別売上高・利益の予想（連結）

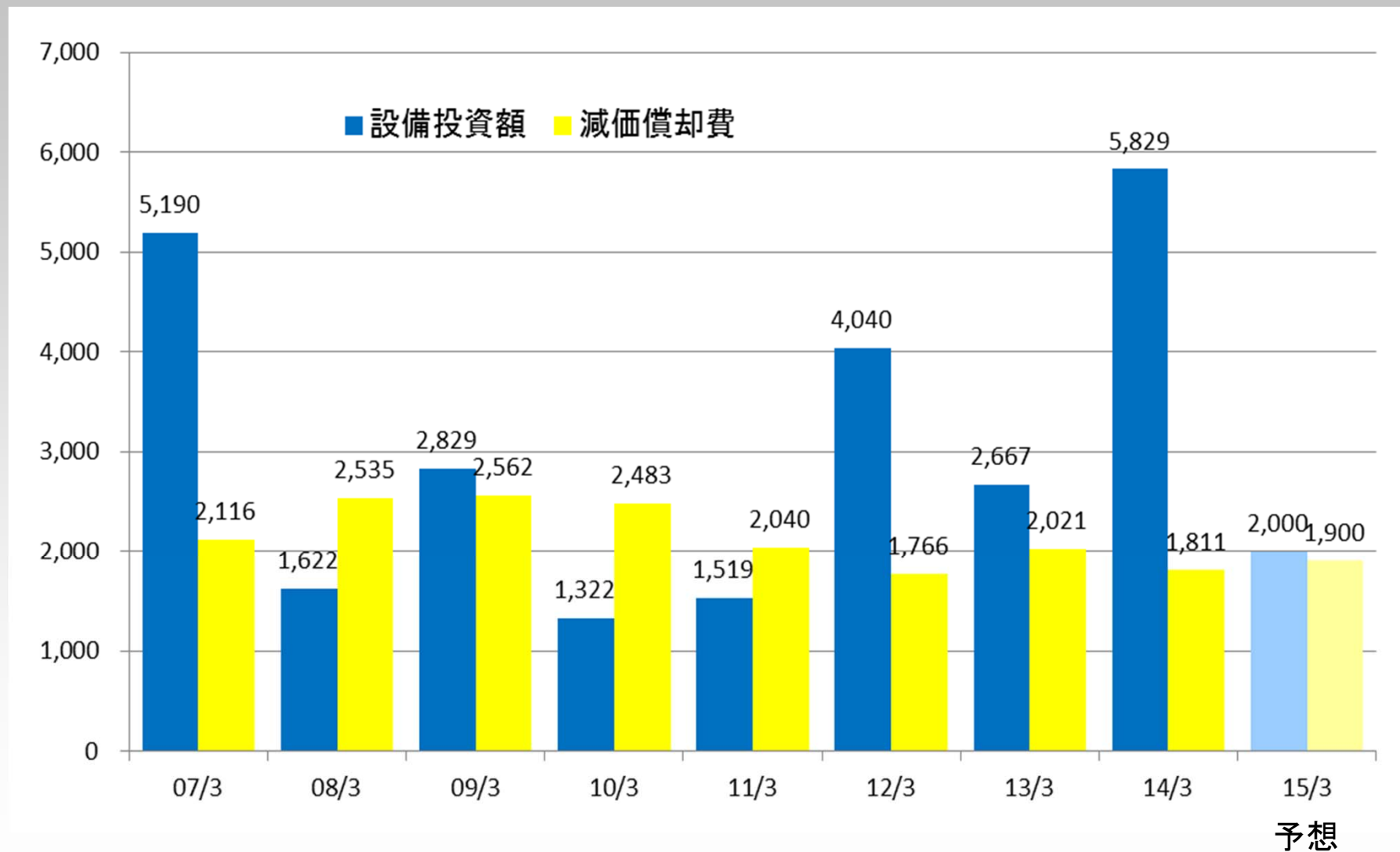


売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	14年3月期	15年3月期 予想			14年3月期	15年3月期 予想		
	実績	上期	下期	通期	実績	上期	下期	通期
エンジン部品	22,565 (71.8%)	10,460 (68.2%)	10,640 (65.6%)	21,100 (66.9%)	656 (2.9%)	△ 65 (△0.6%)	135 (1.3%)	70 (0.3%)
機械装置	5,405 (17.2%)	2,850 (18.6%)	3,400 (21.0%)	6,250 (19.8%)	△ 70 (△1.3%)	25 (0.9%)	85 (2.5%)	110 (1.8%)
環境機器 その他	3,468 (11.0%)	2,020 (13.2%)	2,180 (13.4%)	4,200 (13.3%)	27 (0.8%)	100 (5.0%)	120 (5.5%)	220 (5.2%)
合計	31,439 (100.0%)	15,330 (100.0%)	16,220 (100.0%)	31,550 (100.0%)	614 (2.0%)	60 (0.4%)	340 (2.1%)	400 (1.3%)

設備投資・減価償却費の推移

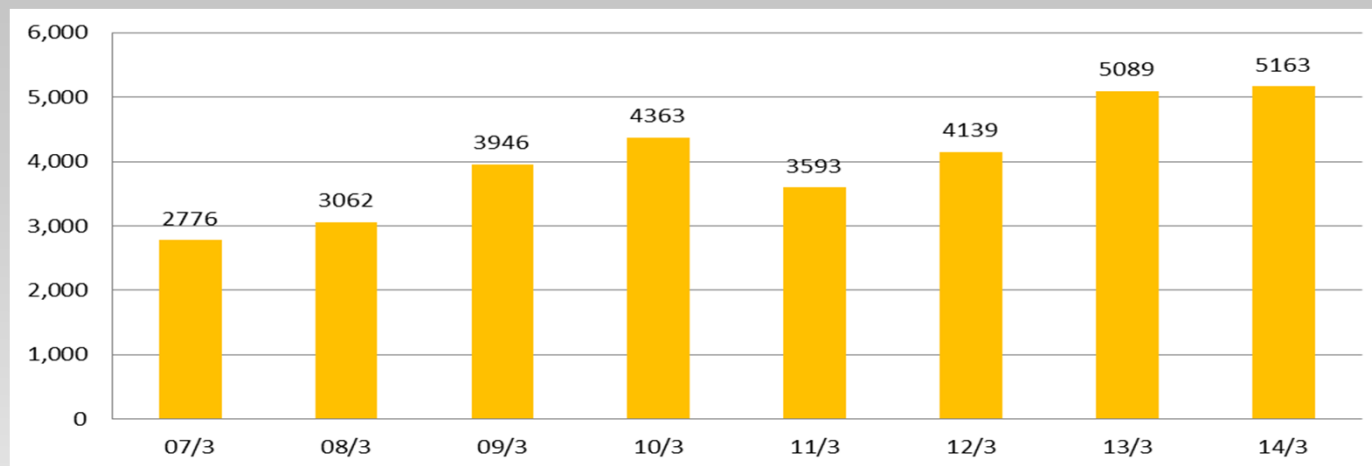
(単位:百万円)



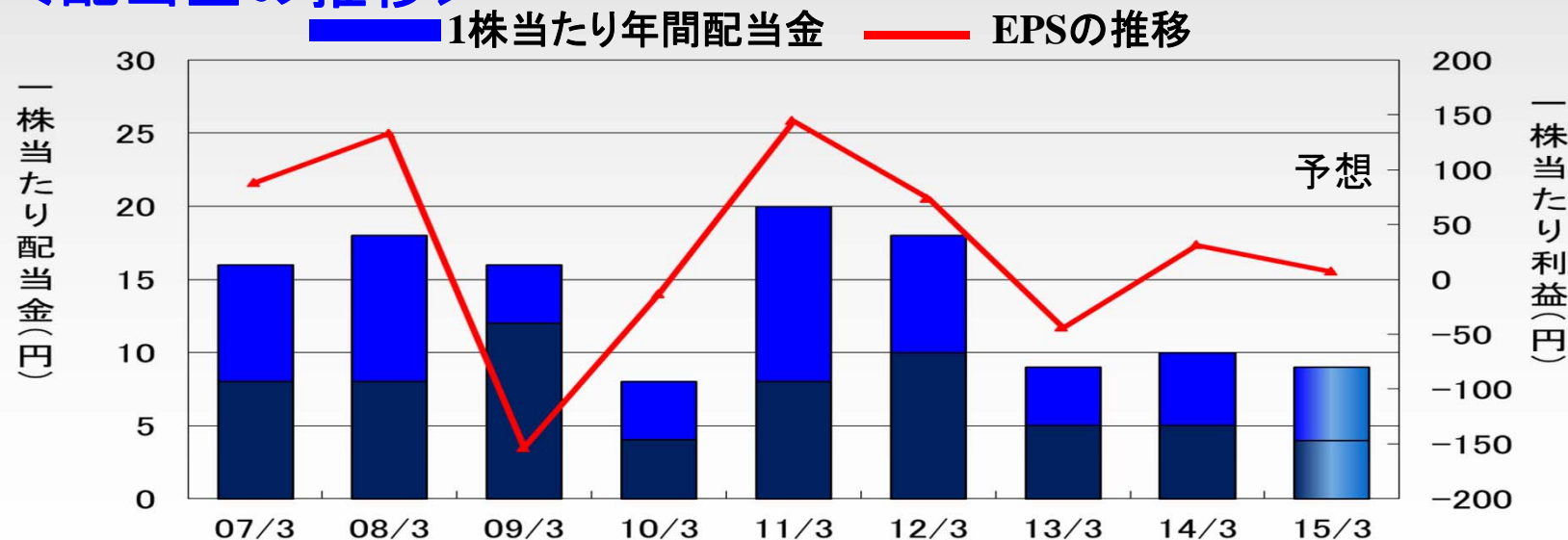
株主還元



<株主数の推移>



<配当金の推移>



- 14年3月期決算概要
- 15年3月期業績予想
- **第4次中期経営計画**



第3次中期経営計画 振り返り (2011年度～2013年度)



<海外拠点>

- ・韓国およびタイに製造拠点を立上げ
- ・インドネシア工場の拡大

<新事業創出>

『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』
『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』 を発表

しかし、売上利益の寄与には時間がかかること、機械装置事業の市場低迷したことで、2013年度(最終年度)の計画未達。

	2014/3	
	当初の目標	実績
売上高	450億円	314億円
営業利益	30億円	6.1億円
営業利益率	6.7%	2.0%

自己資本比率	40%以上	34.2%
ROE	12%以上	3.5%

基本戦略

1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の拡充 ⇒ 韓国工場・タイ工場の安定成長
インドネシア工場の拡充
次の生産拠点検討

2. 新事業の創出

- ◇『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』
『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』の事業化を目指す

3. 財務体質の強化

- ◇財務体質の強化継続

事業戦略

エンジン部品事業

◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める

機械装置事業

◇成長市場を見極め、ニーズを先取りしたモノづくり技術を創出し
世界的な競争力を持った装置を開発する














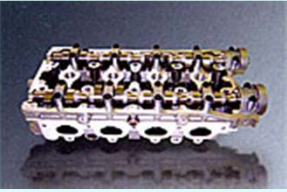




環境機器事業

◇「浄化槽用エアープンプ」「燃料電池用エアープンプ」「ディスポーザ」の
3本柱で、業界No.1の地位を固めるべく、更なるシェア向上を目指す

エンジン部品事業



エンジン部品の新規商談状況

製品名		15年3月期	16年3月期	17年3月期
connecting rod 	国内		 	
	海外	 	   	   
cylinder head 	国内		 	
	海外			
other 	国内			
	海外			

機械装置事業

工作機械

- ◇北米・アジアを中心に、コンロッド、軸物(カムシャフト、クランクシャフト)加工専用設備に特化した営業活動に注力
- ◇中国子会社(山東安永)を活用し、中国市場へ拡大



ワイヤソー

- ◇パワー半導体向けSiCやGaN、スマホカバーや大口径LED用のサファイアといった高硬度材市場向け、太陽電池向け新型機他戦略製品をタイムリーに市場投入



検査装置

- ◇半導体チップの微細化・積層化に対応する検査ユニット、車載用半導体向けスキャナー、太陽電池向け新型機の受注活動に注力



2016年度(最終年度) 連結業績目標値



(単位:百万円)

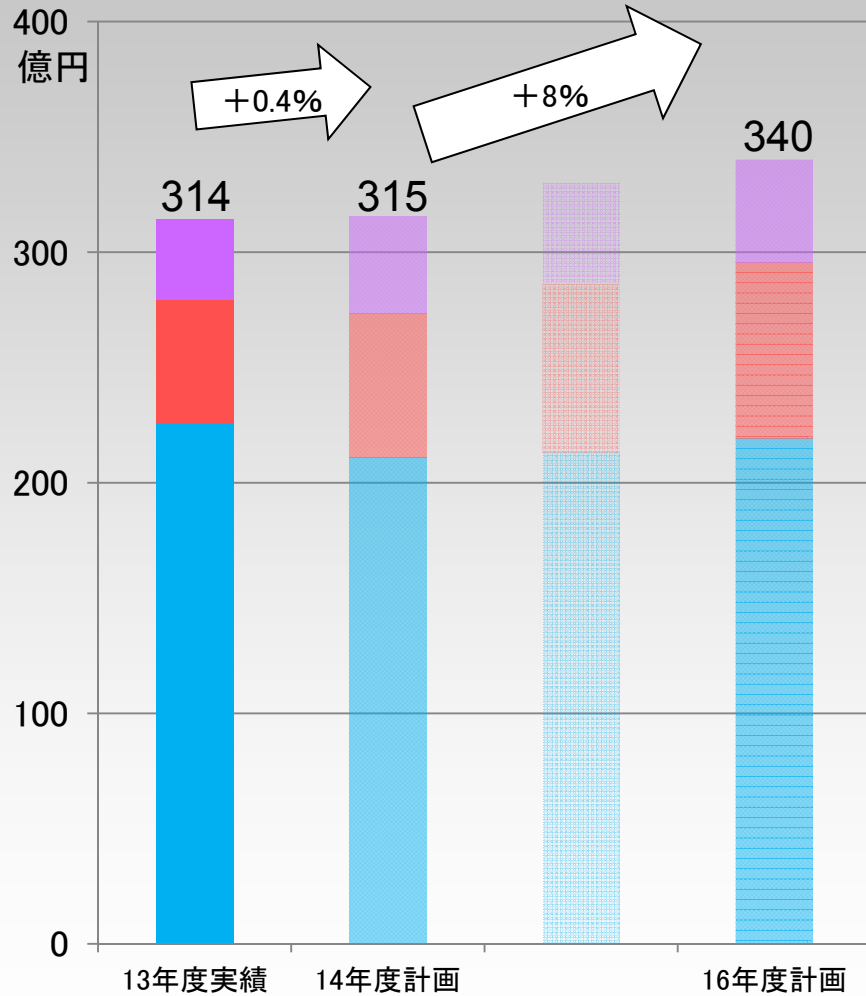
	売上高	営業利益	営業利益率
エンジン部品事業	21,900	170	0.8%
機械装置事業	7,660	430	5.6%
環境機器事業ほか	4,440	420	9.5%
合計	34,000	1,020	3.0%

連結財務ベースの長期的な数値目標

自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

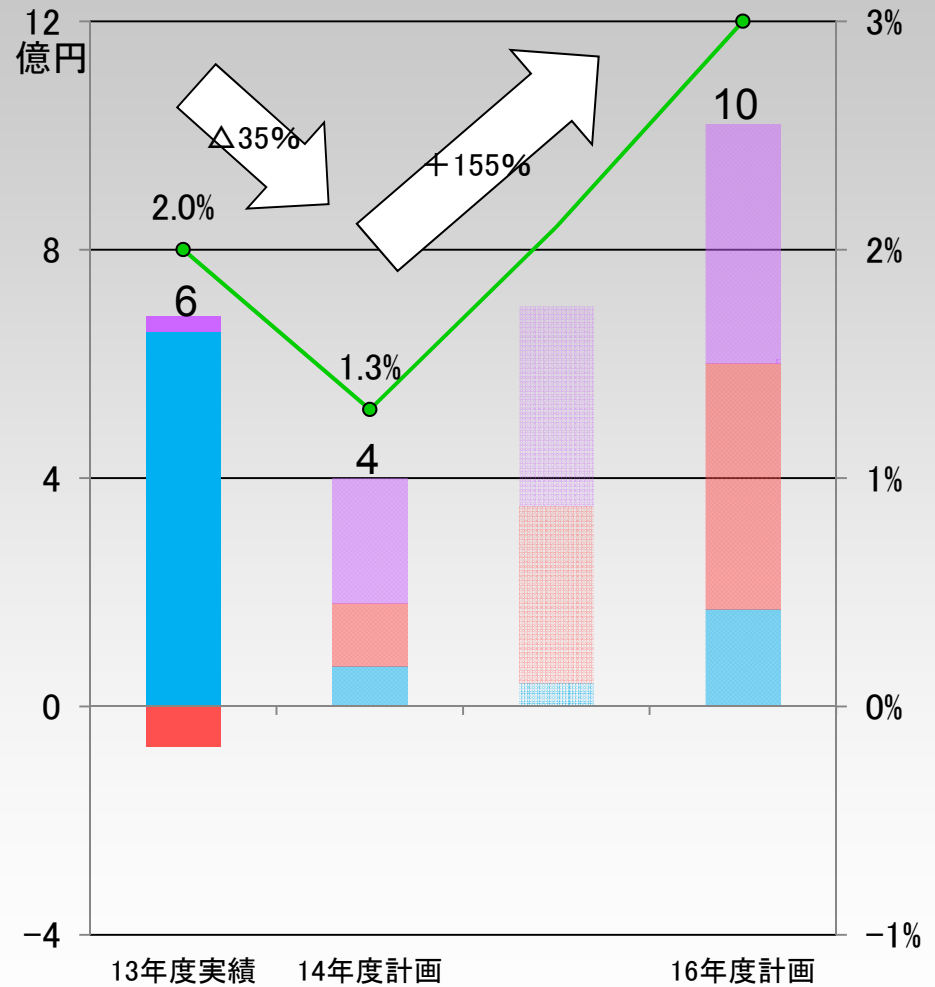
連結売上高の推移

- 環境機器他
- 機械装置
- エンジン部品



連結営業利益と営業利益率の推移

利益は、今期を底に回復

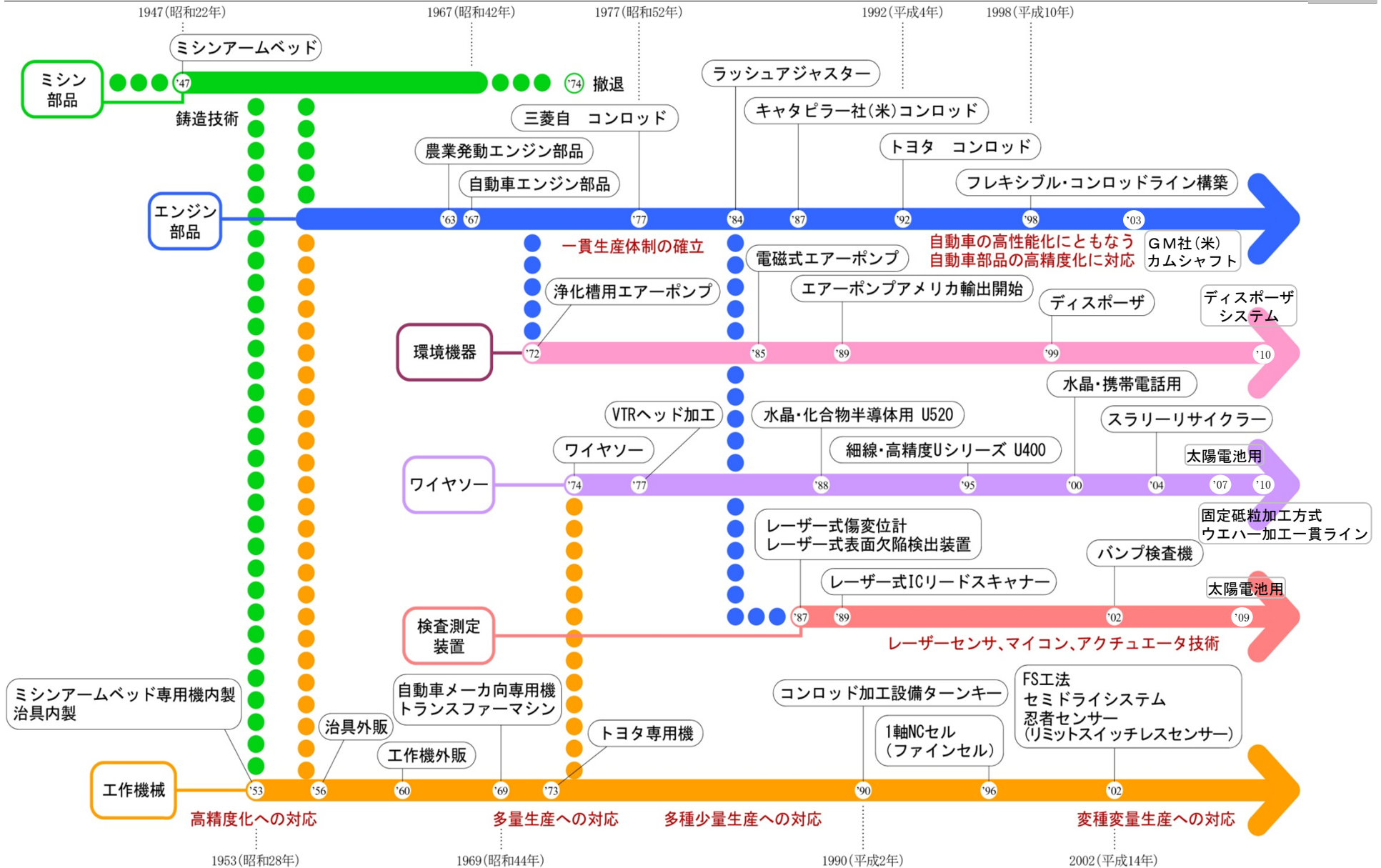


- **設立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上場** : 東京証券取引所 2部 (2013年7月16日)
1単元の株式数 100株
- **事業内容** : エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、
エアーポンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2014年3月期>
- **売上高** : 314億39百万円(連結) <2014年3月期>
- **従業員** : 1,586名(連結) <2014年3月31日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社** : 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)



製品技術の歩み

補足資料②



事業領域

エンジン部品事業

補足資料③



(%)はエンジン部品
製品別売上比率
【13年3月→14年3月】

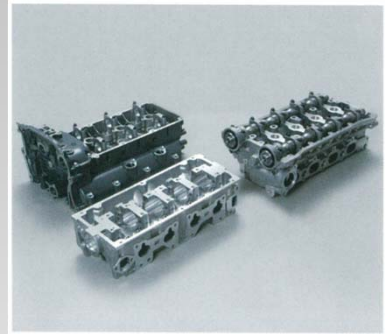
コンロッド、シリンダーヘッド、シリンダーブロック、
カムシャフト、クランクシャフトで9割を占める

自動車メーカーが
内製している
エンジン部品を
当社が生産



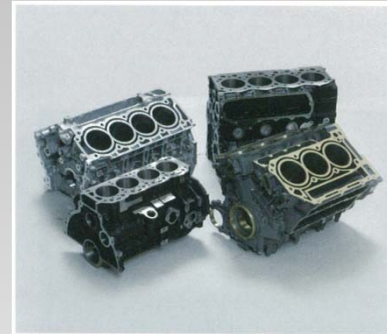
01 コネクティングロッド Connecting rod (42→47%)

トヨタ、三菱自、ダイハツ、三菱ふそう、
CHRYSLER



02 シリンダーヘッド Cylinder head (23→17%)

韓国GM、スズキ、クボタ、三菱重工、
トヨタ



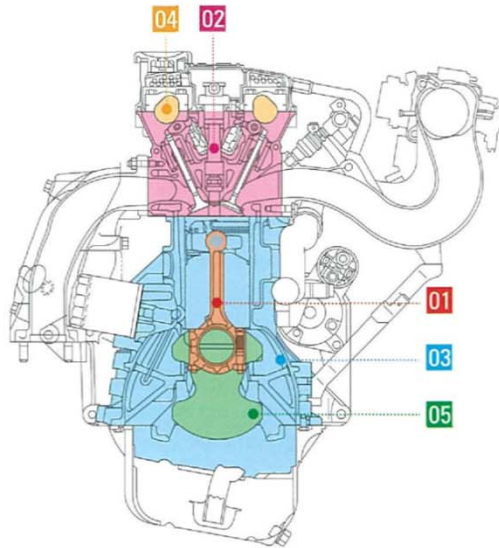
03 シリンダーブロック Cylinder block (13→13%)

三菱重工、スズキ、ダイハツ



04 カムシャフト Camshaft (12→14%)

GMPT、GMHOLDEN、三菱自



その他(10→8%)



05 クランクシャフト Crankshaft (0→1%)

韓国GM

エンジン内部に組み込まれる
部品の生産・加工

エンジンの性能、
機能を熟知

高品質、低コストの
製品づくりを提案

【主要取引先】

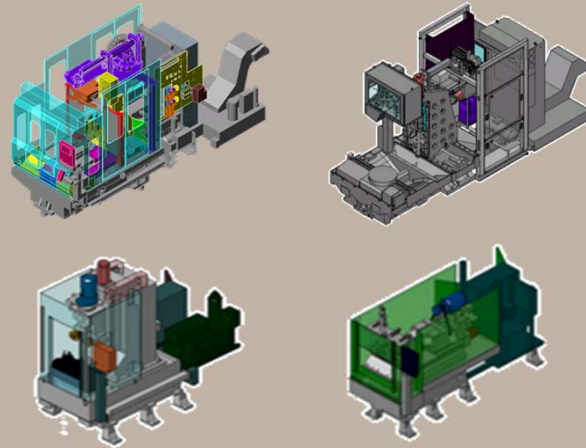
トヨタ自動車、韓国GM、GMPT、
三菱自動車工業、ダイハツ工業、
三菱ふそうトラック・バス、CHRYSLER、
三菱重工業、クボタ、スズキ、
GMHOLDEN等

専用機の
豊富な経験から
標準機を開発

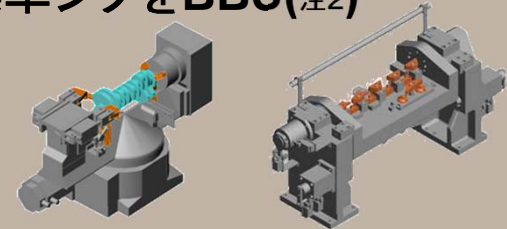
部品事業の
生技ノウハウを
開発、設計に
盛り込む

セルマシン(注1)で多くの実績

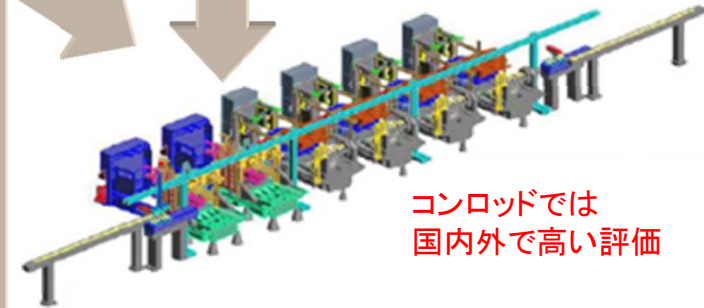
コンロッド、軸物(カムシャフト、
クランクシャフト)加工設備



標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



ターンキー受注に対応可能

低コスト、高品質の製品づくりを提案

注1: 工程特化型マシニングセンター

注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、ホンダ系など)
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

売上・経常利益・純利益の推移(連結)

補足資料⑤

